

自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

平成27年(2015年)
8月20日
本曜日
第157号静岡県教育委員会
教育広報紙

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3168 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

10月はふじのくに「スポーツ推進月間」

◆「スポーツで健康生活、明るく楽しい毎日を!」

県では、毎年、10月を「ふじのくにスポーツ推進月間」と定め、「週に一度はスポーツをしよう!」をキャッチフレーズに、県民がスポーツに親しむ月として、また、その機運を高めるために、各市町での広報、イベントの開催など、スポーツに親しむきっかけとなるよう、啓発活動を実施しています。

日頃、テレビでスポーツを見てスポーツの素晴らしさを感じているあなた、何かスポーツをしてみたいけどできるかなと思っているあなた、今が最大のチャンスです。

さあ、皆さん一緒に、スポーツで気分爽快、明るく楽しい日々を送りましょう!

◆「週1回以上スポーツをしていますか?」

県内の成人を対象にこの

質問をしたところ、「はい」と答えた方は全体の37.7%でした。県では、成人の週1回以上のスポーツ実施率50%以上を目指しています。

「ふじのくにスポーツ推進月間」を契機として、県民の皆様が互いに誘い合ってスポーツを思いっきり楽しんでください。



◆県内各地で様々なスポーツ・レクリエーションのイベントを開催しています

『スポーツの秋』とも言っている9月、10月には「いつでもどこでも・だれでも」気軽に参加できるスポーツやレクリエーションイベントが県内各地で予定されています。

- しづおかスポーツフェスティバル
- 県民スポーツ・レクリエーション祭
- 各市町が計画している

スポーツ・レクリエーションイベント

是非、皆さんで気軽に参加してください。

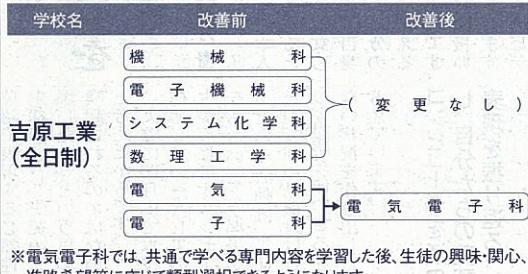
詳細は、県スポーツ振興課(054-221-3287)・各市町のスポーツ主管課まで御連絡ください。



[スポーツ振興課]

平成28年度静岡県立高等学校学科改善

県教育委員会では、来年度、下記の学科改善を行います。



2回の養成研修会では、11月に計画している第2回の養成研修会では、浜松市「いぬかい医院」の白井博美臨床心理士に相談対応の基本を指導していただきます。

家庭教育講座で悩みみスッキリ!

9月以降、家庭教育支援員は、各市町で、主にボランティアとして家庭教育支援活動を行います。「つながるシート」を使つた家庭教育講座は、保護者の悩みや不安を軽減したり、解消したりする

本年度も各学校で人権教育推進の役割を担う方々を対象とした人権教育の悉皆研修会(高校・特支小中・区小中・特支)は、8月23日、静東地区見出されました。また、多くの先生方に親しむきっかけとなるよう、啓発活動を実施しています。

人権教育推進室の事業は、昨年度県の「事業レポート」の対象となり、県民の皆様から本室の取り組みに対する多くの御意見をいたたく機会を得ました。『人権教育は大変重要なものである』から、

研修を実施した学校の割合は100%であるべきだ。学校現場で人権教育が浸透していないので、見出されました。また、多くの先生方に親しむきっかけとなるよう、啓発活動を実施しました。

人権教育の大切さを 「人権教育担当者研修会及び 人権教育研修協議会」報告



人権教育研修会(高校・特別支援学校教員)

人権教育の研修会参加者の教員からは、「担当者は人で推進していくのは難しい」「担当者以外も非学んでほしい」という声もあり、本年度の悉皆研修では、「原則昨年度の研修では、参考を除くこと、希望者が参加できる(高校・特支)」ことになりました。特支においては、参加者の九割以上の方から、「満足」の評価をいただきました。

今後もできるだけ多くの先生方に人権教育の大切さを感じていただきたい。そのためには、教職員をはじめとした周りの大人の権利意識や人権感覚を高めていくことが重要です。

これまでの研修会では、「つながるシート」を活用した家庭教育講座の企画進行等、地域で求めています。来年度は皆さんも参加してみませんか。

情報等、研修の成果を参考してください。教職員がモデルとなり、人権尊重の環境づくりを進めていきましょう。講演会の伝達、参加校長先生を中心とした人権尊重の機運が高まります。来年度は皆さんも参考してください。

家庭教育ワーカーとしての研修会「つながるシート」を活用した家庭教育講座の企画進行等、地域で求められる家庭教育支援を行なう家庭教育支援員が、この夏、誕生します。



人権教育研修会(小中学校教員)



家庭教育支援員の家庭教育講座

誕生! 保護者の味方 「家庭教育支援員!!」

第1回家庭教育支援員養成研修会



市町教育委員会と県PTA連絡協議会から推薦を受けた参加者は、「家庭教育をめぐる現状と課題」「つながるシート」の活用の仕方等、保護者の知識とスキルを学びました。特に、静岡大学大学院石田純夫特任教授による基調講演「心をつなぐループエンカウンター」は、保護者の本音を引き出した話し合いを進めました。上で、大変参考になります。

家庭教育講座の開催等の御要望は、それぞれの御要望は、それぞれの市町家庭教育担当者へ御相談ください。家庭教育講座の開催をお願いします。

家庭教育支援員は、学校や子育て支援センター、公民館等を中心に、支援活動を展開していきます。活動の発展的な取組も期待されています。

家庭教育講座の他、保護者の居場所づくりや家庭教育に関する相談活動等の発展的な取組も期待されています。

先生方の教育活動を側面支援する家庭教育支援員は、学校の応援団です。社会教育課社会教育の屋で検索してください。

で、実施前後の変容を生じます。これにより、生徒の内面的変化を見取ることができます。

評価について、各学校におけるキャリア教育を推進・充実させていくためのポイントをみていきましょう。

キャリア教育の評価には、「見取り」と「点検」があります。この2つの評価について、各学校におけるキャリア教育を推進・充実させていくためのポイントをみていきましょう。

キャリア教育の評価には、「見取り」と「点検」があります。この2つの評価について、各学校におけるキャリア教育を推進・充実させていくためのポイントをみていきましょう。

評価から見直すキャリア教育

徒自身に振り返らせます。これにより、生徒の内面的変化を見取ることができます。

学校教育全体の改善につなげていく「点検」とは

点検を行う上で大切な

ポイント

①実践を継続的に進める

ことができる体制をつく

る

②目標・計画・実践の一貫性を確認する

③キャリア教育の充実につながる関係をつくる

例えば、キャリア教育の取組の後生徒の自己評価に加え、教職員等によるアンケートを実施します。アンケート調査を分析し、十分な成果が得られないものについて教職員で共有し、年度内に具体的な対策の立案を行なうことが大切です。

また、このような成果の点検を全体計画内にあらかじめ組み込んでおくことがキャリア教育の充実につながります。

これらの評価（見取りと点検）の詳細について

は、「子供たちの『見取り』と教育活動の『点検』」と題して、実施後の評価規準・指標を設定する

評価規準・指標を設定す

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

【総合支援課高校班】

平成27年度 「みんなでつくろう学校図書館講座」

学校の教育活動には学校図書館の活用が欠かせません。子どもたちの読書環境充実のため、学校図書館の機能を十分に果たすため、みんなで学んでしませんか。

講師に東京学芸大学の高見京子先生をお迎えして、「本と人をつなぐ読書イベント」を考える中で「ピリオナルの実践」を紹介していただきます。ぜひ、御参加ください。

日時 第1回 平成27年9月25日(金)
第2回 平成27年10月5日(月)
両日とも10:20~16:00

場所 第1回 三島市民生涯学習センター
JR三島駅より徒歩約7分

第2回 静岡県総合教育センター
☆天竜浜名湖鉄道いこいの広場より徒歩約8分

対象 学校図書館に携わる教職員
・学校司書
・学校図書館ボランティア
・学校図書館に興味のある方等【各回80人】

申込書をFAX、郵送またはEメールでお送りください。
※申込書は「まなぶっく」からダウンロードできます。

その他 受講無料で、定員になり次第締切とします。
各回とも同じ内容となります。

問 県総合教育センター
総務企画課 生涯学習推進室

TEL0537(24)9715 FAX0537(24)9748
HP http://www.manabi.pref.shizuoka.jp/

【観音山アドベンチャーキャンプ】

仲間と一緒に、観音山の様々な自然に触れてみませんか?「グリーン、ナイト、ウォーター」3つのアドベンチャーを通して、観音山の大冒険家を目指しましょう。

日時 8月24日(土)~25日(日)1泊2日
対象 小学校4~6年
参加費 5,000円
申込 8月17日(月)~9月25日(金)※締切日必着
(郵送にて受付、応募者多数の場合は抽選)
定員 120人



【第2回 観音山オーブンデー】

沢登りや沢遊びを楽しめませんか?

日時 9月4日(土) (受付:9時~11時)
持ち物 弁当・飲料・タオル・着替え・替え靴等
服装 長袖・長ズボン・帽子・軍手・運動靴
(岩場が多いため、長靴・サンダルは不可)

参加費 無料
申込書 事前申込不要
詳しくは、観音山少年自然の家までお問合せください。
問 観音山少年自然の家 TEL053(545)0111

体験・研修に!「焼津青少年の家」を!

「焼津青少年の家」はどんな場所か知っていますか。皆さんにとっては学校等の宿泊訓練でしか利用できないイメージでしょう。しかし実は、5名以上の団体であれば本所を利用することが可能なのです。

本所ではカヌーを漕ぐ海洋活動や海釣り、本所周辺の街中を歩きながら行う大漁ハイク、ウォーカラリー、松林の中で魚の名前を見つける宝探し、堤防を走るサイクリングなどの野外活動、ロープストラップや七宝焼き、篆刻などの創作活動が体験できます。

また、学習会や研修会、会議などで使用できる研修室や体育室(バレー・ポールコートが2面取れる)などがあり、様々な利用ができます。

また、カヌーを漕いで、ハイキングを行ったりするイベントなど様々な主催事業も行っています。

詳しくはホームページを御覧いただか直接お電話でお問合せ下さい。

申間 烧津青少年の家 TEL054(624)4675

あいのうた短歌募集!

家族に伝えたい思い、大切な思い出、ふとした日常の出来事や風景など短歌で表現してみませんか。皆様からの御応募お待ちしています!

【募集期間】9月30日(水)まで(当日消印有効)

【募集部門】一般的部、ジュニア部(高校生に相当する年齢以下)

【応募資格】どなたでも応募いただけます。

【審査員】依万智氏(歌人)、田中章義氏(歌人)

【応募方法】事務局まで問合せいただき専用HPを御覧ください。

【応募・問合せ先】あいのうた事務局 専用HP(054(284)6754)



専用HPはこちら

県立中央図書館 「葵レク」今年も開講!

葵レクは「自己啓発」と「大人の読書」をキーワードとする図書館講座です。

誰でも気軽に参加でき、県民の皆さんの読書や図書館利用がより推進されることを目標とします。年間を通して多彩な講座を開催します。

普段は入ることのできない図書館の書庫を特別に開放、歴史ある本や雑誌を実際に手にとって見ることができます。

◆書庫開放(2回開催)

毎月25日(日)14時~16時

◆実践編(初級編)

10月25日(日)14時~16時

◆実践編(初級編・実践編各1回)

11月25日(日)14時~16時

◆作曲講座(初級編・実践編各1回)

12月25日(日)14時~16時

◆作曲講座(初級編・実践編各1回)

1月25日(日)14時~16時

◆貴重書講座

を開み、利用者も職員も一緒に自由に語り合う会です。飛び入り参加も大歓迎です。

先生方、人形浄瑠璃 文楽を観たことがありますか？ 日本が世界に誇る伝統芸能をグランシップで。

10/12(月・祝)「人形浄瑠璃 文楽」

星の部 13:30~ 会場/グランシップ 中ホール・大地
夜の部 18:00~ 全席指定一般3,600円 星夜通し券6,480円 子ども1,000円 2階席1,000円 中高生観賞プラン800円

ユネスコ無形文化遺産で、日本が世界に誇る「人形浄瑠璃 文楽」。太夫、三味線、人形遣いが三位一体となって創り上げる舞台は、世界の他の人形劇とは全く異なる魅力がたくさん。今年は、近松門左衛門の名作「心中天網島」ほか、時代物の名作「絵本太功記」などを上演、字幕表示や、出演者による解説があるので、初めての方や学生のみなさんもお楽しみいただけます。

演目:星の部／「団子壳」、「心中天網島」～天満紙屋内の段～大和屋の段～道行名残りの橋づくし
夜の部／「絵本太功記」～夕顔棚の段～尼ヶ崎の段、「日高川入相花王」～渡し場の段

[チケットのお申込み・お問い合わせ]グランシップチケットセンターTEL054-289-9000(営業時間10:00~18:30)※グランシップWEBサイトからも購入できます。
主催:公益財團法人静岡県文化財団、静岡県、公益財團法人文楽協会

広告

次回(第158号)の発行は、9月7日(月曜日)です。

Eジャーナルしづおかは47,000部発行 市町教委等の協力により、静岡県の全ての公立学校等教職員一人一人に配布されています。図書館や公民館等にも配架され、どなたでもご覧いただけます。

写真:青木信二